

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191500034		
法人名	有限会社さくら苑		
事業所名	グループホームさくら苑		
所在地	佐賀県西松浦郡有田町仏ノ原甲1254-2		
自己評価作成日	令和元年7月31日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp">www.kaigokensaku.mhlw.go.jp</a>
-------------	--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和元年8月23日	外部評価確定日	令和元年10月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>自然や四季を、居ながらにして感じられるように、窓を大きく取り、明るく開放的に保てるような施設作りを心掛けた。また、周りをバルコニーで囲み、いつでも戸外に居るような雰囲気味わえるような空間を設けている。緑あふれる中でゆったりと利用者様が過ごせるように、広い畑や花壇を確保している。天気が良い日に外へ出て野山の景色や日光浴を楽しんだり、畑や花壇の周りを散歩して季節を感じられる様になっている。草木や季節の野菜、果実、花など利用者様と育て、楽しめるような機会を作りたいと思っている。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は基本理念「気くばり」「目くばり」「心くばり」を合言葉に、「利用者一人ひとりのあるがままを大切に心のもった介護」の実現を目指している。利用者主体で、心情を大事にしながらその人らしく、過ごせるよう、職員は一人ひとりに寄り添い笑顔ある関わりを大切にしている。健康・医療・安全面についても、重度化した場合や看取りに関する指針が備えられており、家族や医療機関との連携も常に保たれている。代表者所有の畑や果樹園で収穫した野菜や果物など食卓にのぼることも多い。また有田陶器市や有田雛祭りの見学は、この事業所ならではの行事である。玄関は解放されており、利用者も自由に出入りができ、面会の方なども気軽に訪問されるなど解放的な施設づくりが感じられる。</p>
--

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「気くぱり」「目くぱり」「心くぱり」を基本とした事業所の理念と、職員が研修時に学んできた認知症介護の「あいうえお」を朝礼時に唱和している。また、勉強会等でその意味を常に確認して職員全員で共有している。	「気くぱり」「目くぱり」「心くぱり」を基本とした事業所の理念と、職員が研修時に学んできた認知症介護の「あいうえお」を朝礼時に唱和している。また、勉強会等でその意味を常に確認して職員全員で共有している。	開設時に代表者の想いで作成された「心に優しい介護」を事業所の基本理念とし、両ユニットともリビングに掲示され、毎日朝礼時に唱和している。職員は常に理念を意識しながら、利用者が穏やかに笑顔で過ごしていただけるよう支援している。	地域に開かれた事業所としての理念に期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	代表は地元での生活は長く、職員も近隣の職員が多く地区の清掃や会合などにも参加し、地域の一員として交流している。また、地域のボランティアの方が毎月訪問され交流している。	代表は地元での生活は長く、職員も近隣の職員が多く地区の清掃や会合などにも参加し、地域の一員として交流している。また、地域のボランティアの方が毎月訪問され交流している。	代表者が施設近隣に居住し、地元区長など行っていたこともあり地域との交流はできている。近隣の職員も多く地区の清掃や行事など情報を得て職員は積極的に参加している。日常的に地域住民の立ち寄りはないが、地区の文化祭など利用者とともに参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター養成講座では、キャラバンメイトを務め、小学校や老人会等で認知症の方の理解や対応の仕方などを伝える等、地域の方たちと一緒に認知症の人を支える取り組みをしている。	認知症サポーター養成講座では、キャラバンメイトを務め、小学校や老人会等で認知症の方の理解や対応の仕方などを伝える等、地域の方たちと一緒に認知症の人を支える取り組みをしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や地区の老人会長、区長、民生委員、町の職員など幅広い立場の人に参加してもらい2ヶ月に1回開催している。ホームの活動や取り組み、ヒヤリハット等を報告や、身体拘束等の適正化委員会での意見交換を行い、サービスの向上に活かしている。	家族や地区の老人会長、区長、民生委員、町の職員など幅広い立場の人に参加してもらい2ヶ月に2回開催している。ホームの活動や取り組み、ヒヤリハット等を報告や、身体拘束等の適正化委員会での意見交換を行い、サービスの向上に活かしている。	運営推進会議は定期的に確実に開催されている。事業所の日常の取り組みや状況やヒヤリハットなどが報告され、議事録も質疑応答形式で記載されている。	運営推進会議のメンバーは決められているが、開催時の出席者の記載がない。毎回同じメンバーでも出席の確認は必要と思われる今後期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	町の担当者や包括支援センターとは、電話やメール等で連絡を密にとり、互いに連携しながら運営に取り組んでいる。また、困難な事例の時には町の担当職員と協力して取り組んだり、自宅復帰時の相談にもものってもらっている。	町の担当者や包括支援センターとは、電話やメール等で連絡を密にとり、互いに連携しながら運営に取り組んでいる。また、困難な事例の時には町の担当職員と協力して取り組んだり、自宅復帰時の相談にもものってもらっている。	運営推進会議だけでなく行政の関係課とは電話やメールで相談し助言を受け、互いの連携ができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修会を定期的実施して、基準や法令、禁止行為を学び、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は、玄関の施錠はせず、職員がさりげなく見守り、利用者様が自由に過ごせるように支援している。また、運営推進会議において身体拘束等の適正化委員会を開催し、外部からの意見も積極的に取り入れている。	社内研修会を定期的実施して、基準や法令、禁止行為を学び、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は、玄関の施錠はせず、職員がさりげなく見守り、利用者様が自由に過ごせるように支援している。また、運営推進会議において身体拘束等の適正化委員会を開催し、外部からの意見も積極的に取り入れている。	すべての職員は研修会を重ね、身体拘束をしないケアについては認識も高く拘束はない。職員が目配りにより利用者が穏やかに過ごせるよう支援し、言葉による拘束もないよう支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に参加したり社内研修会を実施して、些細な事でも虐待を見逃す事がないように注意している。また、言葉使いや接遇は会議などで常に意見を交わし虐待の防止に努めている。	外部研修に参加したり社内研修会を実施して、些細な事でも虐待を見逃す事がないように注意している。また、言葉使いや接遇は会議などで常に意見を交わし虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様の状況や想いを常に把握し、関係者と話し合いながら成年後見人や安心サポート活用の支援を行っている。町の担当職員や成年後見人の方とは話し合い、必要に応じた支援に取り組んでいる。	利用者様の状況や想いを常に把握し、関係者と話し合いながら成年後見人や安心サポート活用の支援を行っている。町の担当職員や成年後見人の方とは話し合い、必要に応じた支援に取り組んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、または改定時には、利用者様と家族には十分な説明をし、納得された上で、契約を行っている。また、疑問、質問などあるときには、いつでも相談できる事を伝え、契約書や事業所に相談窓口、担当者を明記している。	契約時、または改定時には、利用者様と家族には十分な説明をし、納得された上で、契約を行っている。また、疑問、質問などあるときには、いつでも相談できる事を伝え、契約書や事業所に相談窓口、担当者を明記している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の声には、些細な事でも耳を傾け、相談しやすい環境作りに努めている、介護相談員を受け入れたり、玄関にはご意見箱を設置している。ご家族の面会時や電話で状況を報告し家族の意見を確認している。また、定期的に家族会や家族カンファレンス、家族参加の行事を行い、意見や要望を表せる機会を作っている。	利用者様の声には、些細な事でも耳を傾け、相談しやすい環境作りに努めている、介護相談員を受け入れたり、玄関にはご意見箱を設置している。ご家族の面会時や電話で状況を報告し家族の意見を確認している。また、定期的に家族会や家族カンファレンス、家族参加の行事を行い、意見や要望を表せる機会を作っている。	相談、苦情の受付体制、外部の相談機関の明示など、苦情処理に関しては契約時に説明し玄関にも掲示されている。両ユニット共に意見箱が設置されているが、まだ投稿はない。家族とは日頃から意見を言いやすい関係づくりに努め、運営推進会議など家族に参加を依頼し、機会あるごとに発言を促している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、正社員会議・各ユニット会議を開催し、代表者と管理者は同席して運営や業務の関する意見や提案を聞く機会を設け、働きやすい環境作りに努めている。	毎月、正社員会議・各ユニット会議を開催し、代表者と管理者は同席して運営や業務の関する意見や提案を聞く機会を設け、働きやすい環境作りに努めている。	毎月開催されているそれぞれの会議には、必ず代表者と管理者が同席している。管理者は定例の会議だけではなく、日々の業務にも携わっており、職員の気持ちや考えを直に感じ、意見、提案を聞くことで、業務に反映し働きやすい職場環境づくりを目指している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、定期的に職員の個人面談を行い、給与、労働時間、職場環境・条件などを話し合う機会を設け、個々にあった労働条件で勤務できるように配慮している。	代表者は、定期的に職員の個人面談を行い、給与、労働時間、職場環境・条件などを話し合う機会を設け、個々にあった労働条件で勤務できるように配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の社内研修会や病院の研修会に参加している。また、能力に合った外部研修会への参加を促したり、研修や資格試験の時は勤務時間の調整をして環境整備に努めている。	毎月の社内研修会や病院の研修会に参加している。また、能力に合った外部研修会への参加を促したり、研修や資格試験の時は勤務時間の調整をして環境整備に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区の勉強会や交流会等には積極的に参加し、同業者や関係者との交流や意見交換の機会をつくっている。	地区の勉強会や交流会等には積極的に参加し、同業者や関係者との交流や意見交換の機会をつくっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様の不安な気持ちにしっかりと耳を傾け、利用者様と思いがひとつになるまでお話をし共感し合え信頼性を深められるように努めている。	利用者様の不安な気持ちにしっかりと耳を傾け、利用者様と思いがひとつになるまでお話をし共感し合え信頼性を深められるように努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始前には自宅や現在生活をされている場所で家族と話し合いの機会を持つようになっている。施設に預けられること等の不安や、家族関係など色々な要望に耳を傾け、安心して利用できるよう信頼関係作りに努めている。	サービス開始前には自宅や現在生活をされている場所で家族と話し合いの機会を持つようになっている。施設に預けられること等の不安や、家族関係など色々な要望に耳を傾け、安心して利用できるよう信頼関係作りに努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所サービスのみ捉われず、他の専門職と連携、相談し合い支援の方法を見極める様に努めている。また、本人や家族の要望があれば他のサービスの利用の方法も一緒に検討している。	入所サービスのみ捉われず、他の専門職と連携、相談し合い支援の方法を見極める様に努めている。また、本人や家族の要望があれば他のサービスの利用の方法も一緒に検討している。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人と職員の信頼関係により、一つ屋根の下で本人を主体とした対等の立場で共に生活していく環境づくりに努めている。	本人と職員の信頼関係により、一つ屋根の下で本人を主体とした対等の立場で共に生活していく環境づくりに努めている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には、担当者より毎月ホームでの様子をお伝えする便りを送っている。また、面会時や電話等で常に本人の状況報告し、要望があれば家族との外泊や外食を出来るように支援したり、共に支えていく関係を築いている。	家族には、担当者より毎月ホームでの様子をお伝えする便りを送っている。また、面会時や電話等で常に本人の状況報告し、要望があれば家族との外泊や外食を出来るように支援したり、共に支えていく関係を築いている。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の催しなどの出席、友人や知人の面会など、利用者様や家族の要望には出来るだけ応えるようにしている。毎月、家族にはホームでの様子をお伝えする便りを送り、行事などの参加の案内をしている。また、文化祭や陶器市など地域の催しにも毎年出かけている。	家族の催しなどの出席、友人や知人の面会など、利用者様や家族の要望には出来るだけ応えるようにしている。毎月、家族にはホームでの様子をお伝えする便りを送り、行事などの参加の案内をしている。また、文化祭や陶器市など地域の催しにも毎年出かけている。	家族の協力を得て馴染みの美容室の利用、お寺参りなどこれまで本人を支えてきた関係を大事にした支援を行っている。友人や知人の面会時は湯茶の接待を行い、自室やリビングでゆっくりすごしてもらうことで関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、席やソファの位置、居室などの配慮や、対応を心がけている。また、目や耳が不自由な利用様には他の利用者様が声を掛けるなど、利用者同士が良い関係で関わり合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係を把握し、席やソファの位置、居室などの配慮や、対応を心がけている。また、目や耳が不自由な利用様には他の利用者様が声を掛けるなど、利用者同士が良い関係で関わり合えるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても、いつでも相談に応じられることを伝え、その後のサービスについても必要に応じて支援が出来るように取り組んでいる。また、長期入院になられた場合でもお見舞いに訪問し退院後の相談にも乗っている。	利用が終了しても、いつでも相談に応じられることを伝え、その後のサービスについても必要に応じて支援が出来るように取り組んでいる。また、長期入院になられた場合でもお見舞いに訪問し退院後の相談にも乗っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で、利用者様の声や表情、想いを汲み取ることに努め、職員の自己満足にならない様に、一人ひとりの「その人らしさ」を大切にケアプラン作りに努めている。本人の自宅で暮らしたいとの意向があった場合は、関係者と話し合いを繰り返し意向に添った支援を検討している。	日々の関わりの中で、利用者様の声や表情、想いを汲み取ることに努め、職員の自己満足にならない様に、一人ひとりの「その人らしさ」を大切にケアプラン作りに努めている。本人の自宅で暮らしたいとの意向があった場合は、関係者と話し合いを繰り返し意向に添った支援を検討している。	入居時に得た利用者の生活歴などを基に、日々の関わりの中で寄り添い、会話することで思いや意向の把握に努めている。入浴時など利用者と職員がゆとりと話ができることもあり意向に沿った支援に努めている。意思表示が困難な利用者については家族の協力を得ながら利用者本意に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、関係者より話を聞き、生活歴、生活環境、これまでのサービス利用経過の把握に努めケース会議などで職員全体で共有し把握している。その人らしく暮らし続けるための支援に努めている。	本人や家族、関係者より話を聞き、生活歴、生活環境、これまでのサービス利用経過の把握に努めケース会議などで職員全体で共有し把握している。その人らしく暮らし続けるための支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりを通じて、心身機能の状態の変化を把握し、自律を促す援助方法を話合っている。また、一人ひとりの行動を常に見守り介助する中で体調の変化や精神的不安に気づくように努めている。	日々の関わりを通じて、心身機能の状態の変化を把握し、自律を促す援助方法を話合っている。また、一人ひとりの行動を常に見守り介助する中で体調の変化や精神的不安に気づくように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケース会議では様々な立場から意見を出し合い、3ヶ月毎のモニタリングでは、本人や家族の話、時には主治医の意見を聞き、意見を反映した、個々の現状に即した介護計画の作成を心がけている。また、必要に応じ外来リハビリや居宅療養管理指導の支援も計画に取り入れている。	毎月のケース会議では様々な立場から意見を出し合い、4ヶ月毎のモニタリングでは、本人や家族の話、時には主治医の意見を聞き、意見を反映した、個々の現状に即した介護計画の作成を心がけている。また、必要に応じ外来リハビリや居宅療養管理指導の支援も計画に取り入れている。	利用者や家族、主治医などから情報を得て、本人や家族の意向が反映された計画作成を基本に行っている。定期的にモニタリング評価を行い、利用者の状況変化に応じて見直しが行われ、現状に即した介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画にそって、日々のケアや心身の状況を個別に記録し、職員全員で共有している。また、気づきや変化をを申し送りノートに記録し、日々の状態の変化や支援の変更にも対応できるようにしている。	介護計画にそって、日々のケアや心身の状況を個別に記録し、職員全員で共有している。また、気づきや変化をを申し送りノートに記録し、日々の状態の変化や支援の変更にも対応できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	両ユニット間の交流、隣接するデイサービスとの交流、地域やボランティアとの交流、または、ニーズに合わせた外部サービスを取り入れた支援にも柔軟に対応している。	両ユニット間の交流、隣接するデイサービスとの交流、地域やボランティアとの交流、または、ニーズに合わせた外部サービスを取り入れた支援にも柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出時などは予め下見を行い、時にはその担当者と協議して安全を確保できるか検討し、協力を得ながらその資源の中で本人の力で安全に楽しむことが出来るように支援している。	外出時などは予め下見を行い、時にはその担当者と協議して安全を確保できるか検討し、協力を得ながらその資源の中で本人の力で安全に楽しむことが出来るように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	希望されるかかりつけ医は継続して 受診・往診できる様にしている。適 切な医療を受けられる様、受診時 には担当の職員が健康状態を家族や 医師に伝え、必要時には職員が診 察に同行し支援している。診察時間 外でも緊急時には連絡が取れるよう に連携している。歯科は定期的に訪 問診療をされ口腔ケアや治療をして もらっている。	希望されるかかりつけ医は継続して 受診・往診できる様にしている。適 切な医療を受けられる様、受診時 には担当の職員が健康状態を家族や 医師に伝え、必要時には職員が診 察に同行し支援している。診察時間 外でも緊急時には連絡が取れるよう に連携している。歯科は定期的に訪 問診療をされ口腔ケアや治療をして もらっている。	入居後も利用者や家族が希望する 従来の医療機関で受診や往診を受 けている。関係医療機関とは情報の やり取りなどで緊急時の対応もで き、信頼関係は築かれており、利用 者は適切な診療が受けられている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者 が適切な受診や看護を受けられるように支 援している	看護職員と介護職員はは常に利用 者の状態や変化の情報交換し、異 常の早期発見と適切な医療が受け られる様にしている。また、適切な処 置が受けられるよう看護師とは24時 間オンコールで連携して不在時でも 相談や応ができるようにしている。	看護職員と介護職員はは常に利用 者の状態や変化の情報交換し、異 常の早期発見と適切な医療が受け られる様にしている。また、適切な処 置が受けられるよう看護師とは25時 間オンコールで連携して不在時でも 相談や応ができるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談に 努めている。又は、そうした場合に備えて病 院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には職員が同行し関係者と 情報交換している。退院や経過カン ファレンス時には職員も家族と一緒 に出席し、退院について話し合うよ うにしている。また、入院期間中は 地域連携室と連絡を取り合い病状 の経過や退院後の対応について話 し合っている。	入院時には職員が同行し関係者と 情報交換している。退院や経過カン ファレンス時には職員も家族と一緒 に出席し、退院について話し合うよ うにしている。また、入院期間中は 地域連携室と連絡を取り合い病状 の経過や退院後の対応について話 し合っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合いを 行い、事業所でできることを十分に説明しな がら方針を共有し、地域の関係者と共に チームで支援に取り組んでいる	入所契約時には重度化、看取りに 関する指針について説明し入所時 点での意向の確認をしている。段階 ごとに話し合う機会を設け意向を確 認するようにしている。ご家族・主治 医と十分に話し合い、本人と家族の 意向をふまえ、看取りを希望され た際には、関係者と連携しながら支 援に取り組んでいる。家族の付き添 いの対応や、葬儀の相談にのること もある。	入所契約時には重度化、看取りに 関する指針について説明し入所時 点での意向の確認をしている。段階 ごとに話し合う機会を設け意向を確 認するようにしている。ご家族・主治 医と十分に話し合い、本人と家族の 意向をふまえ、看取りを希望され た際には、関係者と連携しながら支 援に取り組んでいる。家族の付き添 いの対応や、葬儀の相談にのること もある。	重度化した場合の対応に係る指針 があり、契約時に利用者や家族に 説明が行われ同意を得ている。これ までも看取りの経験がある。利用者 の状態に応じて、家族や主治医と何 度でも話し合いを持ち、利用者本人 や家族が納得した最期が迎えられ るよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時や、事故発生時などの対応を検討し、会議などで確認している。また、消防署より救急救命士の方に来て頂き、救急救命や心肺蘇生の講習会を開催し、全職員が定期的に訓練を行っている。	緊急時や、事故発生時などの対応を検討し、会議などで確認している。また、消防署より救急救命士の方に来て頂き、救急救命や心肺蘇生の講習会を開催し、全職員が定期的に訓練を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の立会いのもと、日中や夜間を想定した避難・消火・通報訓練をより実際に近い形で行っている。また、近隣住民の皆様にも訓練に参加いただき協力体制を築いている。また、風水害や地震を想定した訓練を実施し、自治体や同業者との協力体制の話し合いをしている。事業所が高齢者や要介護者の避難所になる事も想定している。	消防署の立会いのもと、日中や夜間を想定した避難・消火・通報訓練をより実際に近い形で行っている。また、近隣住民の皆様にも訓練に参加いただき協力体制を築いている。また、風水害や地震を想定した訓練を実施し、自治体や同業者との協力体制の話し合いをしている。事業所が高齢者や要介護者の避難所になる事も想定している。	定期的に消防署の指導を受け災害避難訓練を実施し、夜間想定の実行も行っている。緊急通報システムが整備されており、緊急時には消防署とともに、全職員に一斉通報される。災害に備え備蓄も整っている。	

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自立をたすけ尊厳を守ることを介護の基本として、会議では、常に日頃の介助方法や対応、言葉使いや声掛けの仕方について話し合い、人生の先輩に対する接し方をするように心がけている。個人情報や秘密の保持についてもマニュアルを作成し適切に管理している。	自立をたすけ尊厳を守ることを介護の基本として、会議では、常に日頃の介助方法や対応、言葉使いや声掛けの仕方について話し合い、人生の先輩に対する接し方をするように心がけている。個人情報や秘密の保持についてもマニュアルを作成し適切に管理している。	利用者の人格を尊重した支援がなされている。人生の大先輩とした接し方をしよう、管理者は助言や指導を行うこともある。個人情報の遵守は運営規定にや重要事項説明にも守秘義務の対策として謳われており守られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様との会話の時間は大切に、特に傾聴することを心がけている。利用者が自己決定し易いような問いかけで自己決定を促し、決定されたことは尊重し、出来る限り希望に添った支援と利用者中心のケアを心がけている。	利用者様との会話の時間は大切に、特に傾聴することを心がけている。利用者が自己決定し易いような問いかけで自己決定を促し、決定されたことは尊重し、出来る限り希望に添った支援と利用者中心のケアを心がけている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの希望に応じるように心がけてその日を過ごして頂くような対応に努めている。仕方なく都合を優先する場合は丁寧に説明し納得をしてもらうように努めている。	利用者一人ひとりの希望に応じるように心がけてその日を過ごして頂くような対応に努めている。仕方なく都合を優先する場合は丁寧に説明し納得をしてもらうように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容をお願いしている。また、季節の行事には職員が着物の着付けや化粧をして参加をして頂いている。好みを聞きながら服を買い替えたり、ネイルなど歳をとってもおしゃれが出来る喜びを支援している。	定期的に訪問美容をお願いしている。また、季節の行事には職員が着物の着付けや化粧をして参加をして頂いている。好みを聞きながら服を買い替えたり、ネイルなど歳をとってもおしゃれが出来る喜びを支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に合わせて、職員と一緒に野菜の下ごしらえや、食器拭き等後自然に手伝えるように支援している。また、職員が利用者と一緒に同じ物を食べ、利用者と一緒に楽しみながら食事をしている。また、利用者様からの要望で外食へ行ったり、お弁当、施設の畑からは季節の野菜や果物を楽しむ事ができる。食事が美味しく食べられるように訪問歯科による居宅療養管理指導を実施している。	利用者の能力に合わせて、職員と一緒に野菜の下ごしらえや、食器拭き等後自然に手伝えるように支援している。また、職員が利用者と一緒に同じ物を食べ、利用者と一緒に楽しみながら食事をしている。また、利用者様からの要望で外食へ行ったり、お弁当、施設の畑からは季節の野菜や果物を楽しむ事ができる。食事が美味しく食べられるように訪問歯科による居宅療養管理指導を実施している。	代表者が献立を作成している。施設の畑で収穫された季節の野菜が、主菜、副菜とともに取り入れられている。利用者の要望で回転寿司など外食する機会もあり楽しみの一つとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせた、食事・水分量や食事形態、栄養状態など、主治医や看護師とも連携しながら毎日管理をしている。また、経口摂取による栄養確保に努め、状態によっては主治医による点滴での補給の支援も行っている。	一人ひとりの状態に合わせた、食事・水分量や食事形態、栄養状態など、主治医や看護師とも連携しながら毎日管理をしている。また、経口摂取による栄養確保に努め、状態によっては主治医による点滴での補給の支援も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々の能力に応じた介助と状態に合わせたブラシを使い分け、口腔内の清潔保持に努めている。また、定期的に歯科医師や歯科衛生士による口腔内のケアや指導、歯の治療や義歯の調整をもらっている。	毎食後、個々の能力に応じた介助と状態に合わせたブラシを使い分け、口腔内の清潔保持に努めている。また、定期的に歯科医師や歯科衛生士による口腔内のケアや指導、歯の治療や義歯の調整をもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用い本人の排泄リズムを把握し、表情や仕草からトイレへ誘導し、動作の介助を行う事でトイレでの排泄が出来るように支援している。布パンツの方は出来るだけ継続し、おむつの方は布パンツへ戻すことで自立した自然排泄が出来るように支援している。	排泄チェック表を用い本人の排泄リズムを把握し、表情や仕草からトイレへ誘導し、動作の介助を行う事でトイレでの排泄が出来るように支援している。布パンツの方は出来るだけ継続し、おむつの方は布パンツへ戻すことで自立した自然排泄が出来るように支援している。	利用者一人ひとりに合わせた排泄の自立支援を心掛けている。紙パンツや尿パット、オムツなど必要に応じて支援しているが、声かけや誘導で可能な限りトイレでの排泄支援を行い、布パンツに移行できた利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	レクリエーションで適度な運動を取り入れ、食事に食物繊維を取り入れたり、乳製品や水分をしっかり摂ってもらうことで、自然に排便ができるように支援している。また、主治医や看護師と連携し個々に応じた服薬の調整を行っている。	レクリエーションで適度な運動を取り入れ、食事に食物繊維を取り入れたり、乳製品や水分をしっかり摂ってもらうことで、自然に排便ができるように支援している。また、主治医や看護師と連携し個々に応じた服薬の調整を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	浴室内での転倒や事故に注意し、体調や意思を確認しプライバシーに配慮した介助を心がけ一人ひとりがゆっくりと入浴を楽しめるように支援している。拒否される場合でも、日や時間を変更したり、言葉かけに工夫する等、無理強いはせず、個々に応じた支援をしている。状態に応じては清拭をする等の支援をしている。	浴室内での転倒や事故に注意し、体調や意思を確認しプライバシーに配慮した介助を心がけ一人ひとりがゆっくりと入浴を楽しめるように支援している。拒否される場合でも、日や時間を変更したり、言葉かけに工夫する等、無理強いはせず、個々に応じた支援をしている。状態に応じては清拭をする等の支援をしている。	基本的には夏は週3回、冬は週2回の入浴日となっているが、毎日お湯の準備はできており、一人ひとり希望に沿った入浴支援をおこなっている。入浴を拒む利用者には、無理強いはせず日にちを変えたり、また入浴が困難な利用者にはシャワー浴や清拭を行い支援している。	深い浴槽でも利用者が快適に入浴ができるよう、福祉用具などの活用を行い、安全にまた介護者も負担なく入浴介助ができるよう期待したい
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を把握し、日中は希望によりソファや和室での休息の支援を行い、夜間は安心して眠れるように、言葉かけや空調・照明など環境に配慮している。薬を使用する場合は、主治医・看護師と相談し、注意を払いながら調整をしている。	一人ひとりの生活習慣を把握し、日中は希望によりソファや和室での休息の支援を行い、夜間は安心して眠れるように、言葉かけや空調・照明など環境に配慮している。薬を使用する場合は、主治医・看護師と相談し、注意を払いながら調整をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の情報は個人ごとにファイルし職員がいつでも確認できるようにしている。主治医や看護師・薬剤師と常に連携し本人の状態に適した服薬の調整を行っている。投薬の際には必ず二人で確認し誤薬の防止に努めている。	服薬の情報は個人ごとにファイルし職員がいつでも確認できるようにしている。主治医や看護師・薬剤師と常に連携し本人の状態に適した服薬の調整を行っている。投薬の際には必ず二人で確認し誤薬の防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、個々の能力に合わせた役割(野菜の皮むきや食器お膳拭き、洗濯物等)を持てるように支援している。また、趣向に合わせた、絵手紙教室や舞踊、大正琴演奏などのボランティアの受け入れや、ユニット間交流、散歩などの気分転換の支援もしている。	日常生活の中で、個々の能力に合わせた役割(野菜の皮むきや食器お膳拭き、洗濯物等)を持てるように支援している。また、趣向に合わせた、絵手紙教室や舞踊、大正琴演奏などのボランティアの受け入れや、ユニット間交流、散歩などの気分転換の支援もしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設内の畑を散歩したり、希望に添って、買い物や外食、季節に応じた花見や紅葉狩りなどの外出を支援している。地区の催しや文化祭、陶器市のときは、地域の人に場所の配慮などの協力をしてもらっている。また、家族の要望があれば、法事や家族行事の際に職員が付き添うなどの支援も行っている。	施設内の畑を散歩したり、希望に添って、買い物や外食、季節に応じた花見や紅葉狩りなどの外出を支援している。地区の催しや文化祭、陶器市のときは、地域の人に場所の配慮などの協力をしてもらっている。また、家族の要望があれば、法事や家族行事の際に職員が付き添うなどの支援も行っている。	天気がいい日は本人の体調を見ながら屋外の散歩にでかけている。年間行事計画による四季折々の外出も、歩行困難な利用者も車椅子で実現できている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望や能力に応じ少額のお金を所持される。外出時に職員が付き添って気に入ったものを購入されたり、パンやお菓子の移動販売に来られた時には自分で好きな物を選び購入される。	本人の希望や能力に応じ少額のお金を所持される。外出時に職員が付き添って気に入ったものを購入されたり、パンやお菓子の移動販売に来られた時には自分で好きな物を選び購入される。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	レクリエーションで作成した絵手紙や暑中見舞、年賀状を書かれている。本人の要望があれば家族に電話をかけたり、携帯電話を所持され自由に電話されている。	レクリエーションで作成した絵手紙や暑中見舞、年賀状を書かれている。本人の要望があれば家族に電話をかけたり、携帯電話を所持され自由に電話されている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(桜館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(秋桜館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内は、外の季節を感じられるよう窓を広く設け自然の光を多く取り入れた開放的な空間となっている。広い空間を設け好きな場所で自由に過ごせるように開放している。共用空間であるホール内は、和室とソファがありテーブルを囲んで決まった椅子に座り食事をはじめテレビを見たり作業をしたりして過ごされている。馴染みの利用者様と過ごすことで安心して楽しみを感じられている。	施設内は、外の季節を感じられるよう窓を広く設け自然の光を多く取り入れた開放的な空間となっている。広い空間を設け好きな場所で自由に過ごせるように開放している。共用空間であるホール内は、和室とソファがありテーブルを囲んで決まった椅子に座り食事をはじめテレビを見たり作業をしたりして過ごされている。馴染みの利用者様と過ごすことで安心して楽しみを感じられている。	両ユニット共に一日大半を過ごすリビングは、広い窓から自然光が差し込み明るい。窓からは野菜畑や果樹園が目に入る。建物の周囲はウッドデッキに囲まれていて天気の良い日は自由に屋外に出ることもできる。金魚も飼われ利用者の和みとなっている。空調管理も整い室内温度も調整されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内は、ソファや和室があり、ソファでテレビを見られたり、疲れたら和室で休まれ一人ひとりが自由に過ごされている。天気の良い日には、テラスへ出て歌を唄ったり、おやつを食べたりして頂いている。	ホール内は、ソファや和室があり、ソファでテレビを見られたり、疲れたら和室で休まれ一人ひとりが自由に過ごされている。天気の良い日には、テラスへ出て歌を唄ったり、おやつを食べたりして頂いている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人やご家族の好きなようにタンスやテレビを設置されたり家族写真を飾られている。行事の時に撮影した写真や誕生日のメッセージ色紙などを飾り、担当者が本人の個性に応じた楽しい居室作りを工夫している。位牌などを居室に置かれている利用者様もおられる。	本人やご家族の好きなようにタンスやテレビを設置されたり家族写真を飾られている。行事の時に撮影した写真や誕生日のメッセージ色紙などを飾り、担当者が本人の個性に応じた楽しい居室作りを工夫している。位牌などを居室に置かれている利用者様もおられる。	各居室は、利用者の個性に合わせて、馴染みの品や家族の写真など、利用者が落ち着いて過ごせる居室になっている。室内の掃除も職員が行っており清潔な居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用空間では、安全に歩行器や車椅子が移動できるように空間を十分に確保し、その方に合わせたテーブルや椅子の位置などを工夫している。居室ではベッドや手摺の位置などを一人ひとりに合わせて変更するなど出来るだけ自立した生活が送れるように支援している。	共用空間では、安全に歩行器や車椅子が移動できるように空間を十分に確保し、その方に合わせたテーブルや椅子の位置などを工夫している。居室ではベッドや手摺の位置などを一人ひとりに合わせて変更するなど出来るだけ自立した生活が送れるように支援している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。  (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。  (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。  (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。  (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。  (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない